

平成29年8月9日

相生市議会議長
大川 孝之 様

会派名 緑風クラブ
代表者名 吉田 政男

出張報告書

政務活動費により(視察) 研修、要請・陳情活動、会議のため出張いたしましたので、下記のとおり報告します。

記

氏名	吉田 政男、前川 郁典、大川 孝之、阪口 正哉、田中 秀樹、森下 高明	
日程	平成29年 8月 1日 から 8月3日 まで 3日間	
月日	視察、研修、要請・陳情活動、会議先	視察、研修、要請・陳情活動、会議項目
8・1	北海道江別市議会	・地方創生について ・観光案内所 get 's について
8・2	北海道三笠市議会	・議会改革について

旅費 (6 名分)	負担金 (名分)	合計 (6 名分)
631,185円		631,185円



視察、研修、要請・陳情活動、会議の成果

1. 実施日 平成29年8月1日（火）
2. 視察先 北海道江別市議会
北海道江別市高砂町6番地
3. 視察項目 ①地方創生について
②観光案内所GET 'Sについて
4. 視察者 緑風クラブ（前川郁典、吉田政男、大川孝之
阪口正哉、田中秀樹、森下高明）
5. 江別市議会出席者 高間議長、企画政策部中島参事、
企画政策部山口参事、事務局：伊藤
6. 視察内容

江別市は、平成17年をピークに人口が減少していることが明らかとなり、平成23年から人口減少対策に取り組み平成26年度から「えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉」において人口減少下の持続可能なまちづくりを目指し、市の特性や優位性を生かした戦略的な施策を展開しております。こうした流れの中で同ビジョンとの整合性を図りながら「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を平成27年度を初年度とし、今後5年間で取り組む

目標や施策の基本的方向性を示し具体的施策に取り組むこととして
おります。地方創生推進交付金を使った事業として①地域資源を生
かした江別産品販売促進プロジェクト②有給インターンシップ等地
域就職支援事業を実施、また地方創生拠点整備交付金を使い③物販
等施設整備事業④江別市都市と農村の交流センター多目的ホール整
備事業を実施しております。①については、観光商品開発に向け有
識者による検討会議や観光人材育成セミナーの実施②については、
市内4大学の学生に対する事前研修とインターンシップを学生が賃
金を受け取りながら参加する仕組みです。また、③については観光
拠点施設をオープンしており④については、都市と農村の交流セン
ターを整備し「食と農」をPRする拠点と位置づけております。

どの事業とも「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を
呼び込む好循環を確立し、その好循環を支える「まち」を活性化す
る「まち・ひと・しごとの創生」に市民が一体的に取り組む事業を
展開しております。

また、観光案内所GET'Sについては、商業施設エブリ内に開設し
た観光案内機能を備えたアンテナショップです。地元特産品の販
売・展示をしております。近代化産業遺産である旧ヒダ工場跡を活

用しておりチョークアートで魅力を発信し、地元の賑わいづくりと
しております。

7. 所感

相生市においても現在第5次相生市総合計画（後期基本計画）によ
り平成32年度の人口規模を32,000人としまちづくりの基本
目標としておりますが、江別市の取り組みの「まち・ひと・仕事創
生」については、参考になる点も多く感じました。要は仕事の創生
が最大課題でありまちの活性化の基本と痛感いたしました。

この点については、日本全国共通の悩み・問題であり足元を固めな
がら着実に一步一步進んでいく必要があると痛感いたしました。

また、観光案内所GET'Sについては、相生市でも平成30年3
月に駅前に観光案内所が完成する予定であり利便性の確保・観光拠
点としての役割がより重要とされる点、特に意識する必要があると
痛感いたしました。

以上

(資料等添付のこと)